



新緑小だより

電話 (011) 764-4452

FAX (011) 764-1732

令和元年 10月31日(木) 第8号

子は親の鏡

特別支援コーディネーター 宿田 幸江

新天皇陛下が5月1日に御即位され、令和の時代が始まってから半年が過ぎようとしています。10月22日には、御即位を公に宣明される「即位礼正殿の儀」が行われました。

平成17年2月、天皇陛下（当時は皇太子殿下）がお誕生日の記者会見で、3歳の愛子様の養育方針についてお話されました。その中で、ドロシー・ロー・ノルトというアメリカの家庭教育学者のつくった「子ども」という詩を朗読されました。スウェーデンの中学校の社会科の教科書に収録されていたものです。世界中でいろいろなタイトルがつけられたようですが、「子は親の鏡」というタイトルが有名でしょう。私の長男が同じ年頃だったこともあり、感銘を受けたことを覚えています。つい最近も書店で目にし、長く愛されている名詩なのだと感じました。

子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

本の中に、『子どもは、いつも親の姿を見ています。（中略）親は、子どもにとって、人生で最初に出会う、最も影響力のある「手本」なのです。』と、記してあります。私たち教師も、子どもたちにとって、家庭に次ぐ最も身近な大人であり、手本でありたいと思います。子どもたちのすばらしさ、個性をどのように伸ばすか、家庭と学校とが手を取り合って、子どもたちの未来を支えていきましょう。

本校では、担任をはじめとして、校長・教頭・担任外・特別支援コーディネーター・スクールカウンセラー等、学校全体で子どもたちを支えていきたいと考えています。お子さんのことで気になること、心配なことがありましたら、遠慮なく御相談ください。